

総務常任委員会

○平成24年度宇都宮市

一般会計補正予算

議案の概要 総務費で、震災特例法による個人市民税の税額更正に伴う過誤納還付金、固定資産税の評価額の更正に伴う過誤納返還金を追加計上し、地方債で、今回の補正に伴い、児童福祉施設整備費など6件の限度額を変更する。

委員会の結論 起立採決の結果、原案のとおり可決。

○北西部地域活性化の実現を図るための陳情

陳情の趣旨 市北西部地域では、交流人口の増加を推進しているが、若者の転出や少子高齢化の傾向が顕著であり、人口の定住化促進策に早急に取り組むことが不可欠である。

北西部地区の地域振興策として、市の均衡ある発展を推進するため、都市空間形成の基本方針と都市計画マスタープランにおける地域別構想を再構築するなど、ネットワー

ク型コンパクトシティの形成を図れるよう実施することなど3項目を陳情する。

意見 「北西部地域だけではなく、地域振興において必要な問題提起であり、願意の方向性に大きく反対する理由はない。インター周辺の開発については地域の活性化につながっている例もある中で、願意を十分くみ取り、採択したい」

「この陳情は、地域要件が強くなる地域でも同じような問題は生じている。とりわけ、北西部の公共施設が他の地域に比べると少ないことや、交通の要衝である宇都宮インター周辺が有効に活用されていないことは理解でき、地域振興策としては必要なことと考えるが、総合計画における位置づけなども踏まえこの件については継続して審査を行うべきである」

委員会の結論 継続審査を求める意見もあったが、起立採決で採択。



▲宇都宮インターチェンジ周辺

厚生常任委員会

○平成24年度宇都宮市

一般会計補正予算

議案の概要 民生費で、国の待機児童解消先取りプロジェクトの採択による、私立保育園の整備数の増などに伴う児童福祉施設運営等助成費や、高齢者バス乗車券の購入件数が、当初見込みを上回ったことに伴う老人いきがい対策費、生活保護受給者の増加に伴う生活保護費を追加計上する。

また、衛生費で、生活保護受給者における結核入院患者の増加により、医療費が当初見込みを上回ったことに伴い、結核予防費を追加計上する。

委員会の結論 全会一致で原案のとおり可決。

○宇都宮市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例

議案の概要 国の地方分権改革における介護保険法の一部改正に伴い、これまで省令で定められて

いた指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を条例で定めることになったため、必要な事項を規定する。

質疑 グループホームの床面積は、国の基準が7・43㎡以上となっているのに対し、市では、10・65㎡以上を独自の基準とするのことであるが、どのような考え方から、独自の基準を規定するのか。

説明 グループホームの利用の実態として、特別養護老人ホームの受け皿的な部分もあり、車イスの利用者もいるため、一定の広さを確保する必要があると考えており、これまでも、特別養護老人ホームの床面積の基準である10・65㎡以上を、グループホームの床面積の市独自の基準として運用してきた。

よって、条例の制定に当たり、10・65㎡以上を本市独自の基準として規定するものである。
委員会の結論 全会一致で原案のとおり可決。

環境経済常任委員会

○平成24年度宇都宮市

一般会計補正予算

議案の概要 農林水産業費で、事業費の確定に伴う場整備費、障がい者の施設利用数の増加により、減免利用負担金が当初見込みを上回ったことに伴う、農林公園管理費及び地域交流館管理費を追加計上する。

債務負担行為について、25年度し尿収集運搬・し尿処理券販売業務委託について、新たに設定する。
委員会の結論 全会一致で原案のとおり可決。

○指定管理者の指定

概要 上河内地域交流館の指定管理者を指定する。

委員会の結論 全会一致で原案のとおり可決。



▲上河内地域交流館 梵天の湯

○その他の所管事務

質疑 先日視察した、函館競輪場では、包括委託を導入していた。宇都宮競輪場では、努力をして利益を出しているが、これまで包括委託を検討したことがあるのか、また今後、どのように考えているのか。

説明 競輪場の包括委託については、施設管理や投票所を委託するもの、施設は施行者が所有して施設運営を包括委託するなど、さまざまな委託方法がある。

宇都宮競輪場については、独自で収益を上げていく考えであり、包括委託については検討していないが、将来的に収益確保が厳しくなった場合には、施設管理や投票所の包括委託化について、検討していかなければならないと考えている。



▲函館競輪場の視察の様子